

「アロンの祝祷」 ～あなたは祝福された人～

民数記6：23～27

イスラエルの人が出エジプトした後に約束の地に行けたのはわずかです。イスラエルの人たちは、神様自身を忘れてしまっていました。神様は多くの奇跡をイスラエルのの人たちに見せましたが、神様は奇跡を通して『私は共にいる！』ということを知らせたかったのです。神様は奴隷であるイスラエルの人々を救い出しました。しかしイスラエルの人たちは不平不安を言い続けていました。私たちもイスラエルの人たちの様に、文句を沢山言ってしまうと思います。しかし神様はそのような中から救い出そうとして下さいました。不平不満を言っていたイスラエルの人たちに、彼らの欲求を満たすためではなく、私が共にいるということを示すために、奇跡を起こされました。『神様にこのようにしなさい！』と言われたとき条件付きで、求めることもあるでしょう。そのような時にも神様は答えを語られています。神様が語られた祝福は、どのようなものか知っていますか？神様の祝福は、私の願いに答えられることが祝福ではありません。イエス様の十字架こそが祝福です！神様の祝福が私たちの内に流れやがてその祝福が溢れるようになります。多くのイスラエルの人たちは約束の地に入れませんでした。途中で死んでしまったから、祝福が無かった訳ではありません。モーセもアロンも約束の地に入ることが出来ませんでした。約束の地に入ることが目的ではありません。神様は共にいて下さるといふ、約束を与えて下さっています。神様が共にいるということ、忘れてしまった事によって多くのイスラエルの人たちは、約束の地に入ることが出来ませんでした。あなたは神様に守られ、祝福されています。『主があなたを祝福し』という賛美があります。『主があなたを祝福し あなたを恵まれますように 主がみかおを あなたにたらし あなたを まもられますように 主がみかおを あなたに向けて あなたに平安を与えられますように 与えられますように』この歌詞の元になっているのが、民数記6：23～27です。「主があなたを祝福し守られますように」イスラエルの人たちがどのように守られたか知っていますか？私たちには多くの悩みがあります。神様の祝福を忘れてしまっているから、不平不満が出てきてしまいます。イスラエルの人たちは神様の祝福が、願いが叶えられること！と信じていました。この地に苦難と悲しみが無かったら、神様の守りが必要ですか？SPや護衛の人がいるのは、命の危険があるからですね。私たちがこの世で苦難があります。「ヨハネ16:33わたしがこれらのことをあなたがたに話したのは、あなたがたがわたしにあって平安を持つためです。あなたがたは、世にあっては患難があります。しかし、勇敢でありなさい。わたしはすでに世に勝ったのです。」私たちもイエス様の十字架によって勝利しました。そして神様は世の終わりまで、共にいて下さいます。「御顔があなたを照らし恵まれますように」私たちは落ち込んだら、顔が曇ってしまいます。だから神様は、御顔を照らして、守ろうとして下さいました。イエス様は私たちを救おうと、この世に来て下さいました。そして十字架で死んで下さいました。神様は守るために、私たちを神様の子とされました。「ヨハネ1:12しかし、この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった。」「御顔を向けあなたに平安を与えられますように」イエス様が天国に帰るとき、「平安があるように」と語られました。イエス様が天に戻られて後、弟子たちがしばらくの間祈って聖霊様が下りました。その時に自分の心が、平安だということに気付きました。神様はあなたに平安を与えるために、心の中に神様がいることを示されました。しかし私たちは神様がいることを忘れてしまいます。だから文句を言ってしまう。神様は喜びを与えるために、あなたの痛みをもう一回背負って下さいます。そして平安が与えられます。私たちが神様に祝福されています。神様はあなたと共にいて下さいます。イエス様のお名前はインマヌエルです。「マタイ1:23「見よ、処女がみごもっている。そして男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる。」（訳すと、神は私たちとともにおられる、という意味である。）」私たちが神様が共にいるので『大丈夫』と言うことが出来ます。平安は上からの助けという意味です。「Ⅱコリント4:6「光が、やみの中から輝き出よ」と言われた神は、私たちの心を照らし、キリストの御顔にある神の栄光を知る知識を輝かせて下さったのです。4:7 私たちは、この宝を、土の器の中に入れておられるのです。それは、この測り知れない力が神のものであって、私たちから出たものでないことが明らかにされるためです。4:8 私たちは、四方八方から苦しめられますが、窮することはありません。途方にふかれています、行きづまることはありません。」知識とは、過去の事を指して、栄光の知識とはイエス様の十字架のことです。四方八方からは同じ高さの事を指して、神様は上からの助けを与えて下さいます。それはあなたに、神様が共にいることを示して下さっているからです。私達も日曜日に教会に来た時には、神様が共にいることをよく知っていると思います。神様は私たちの前を進んで下さいます。「ⅴヤ40:31しかし、主を待ち望む者は新しく力を得、鷲のように翼をかって上ることができる。」私たちはとかく問題の方向だけしか向きません。しかし神様の方向を向いていかなくてははいけません。どのような時にも神様が共にいて下さる事を忘れてはいけません。「民数記6:27 彼らがわたしの名でイスラエル人のために祈るなら、わたしは彼らを祝福しよう。」祝福しよう！とは、ひざまずく事で、神様はあなたに仕えるという事です。イエス様は仕える為にこの地に来て下さいました。祝福は神様があなたに仕えるということ。奴隷としてではなく、愛する人を助け守りたいという思いからです。命令や偉そうにするのではなく、その人の為に何かしたいから、仕えるという思いになるのだと思います。イエス様は仕えるということを示すために、この地で過ごされました。イエス様は仕える姿で愛を示されました。イエス様は仕え通しました。聖霊様は仕える霊と言われます。イエス様と同じように聖霊様も私たちの為に、とりなして下さっています。聖霊様はあなたに仕えています。これが祝福です。苦難の中で神様の恵みを知ることが出来ます。それはあなたが光り輝くためです。それでもあなたは、くすみませんか？それとも神様と共にいて、神様が引き上げて下さると信じて歩みたいですか？人々の祝福の為に祈りしていますか？神様はあなたの所に行って、あなたの思いを叶えて下さいます。今日から出会う人、すべての人の祝福を求めていきましょう。あなたを通して周りの人たちが祝福されます。 私たちの内側から祝福が流れていきます。まず神様を見て、そして祝福を求めていきましょう。あなたが祝福することから始まります。（要約者：渡辺 将宏）